

頻出ポイント ① 分詞（形容詞用法）

★ 現在分詞・過去分詞の形容詞用法は前後の名詞を修飾する。

Ving/Vp.p. + 名詞 「～している／された名詞」

= **名詞 + Ving/Vp.p. ~**

例① : A rolling stone gathers no moss.

「転がる石にコケは生えない」〈諺〉

Written language is more formal than spoken language.

「書き言葉は話し言葉より改まっている」

The man standing by the window is my brother.

「窓の近くに立っている人は私の兄です」

The building painted pink is a hospital.

「ピンク色の建物は病院です」

※ 分詞の位置に注意

分詞が**ソロ**（1語）
→ 名詞の**前**に置くのが原則

分詞が**グループ**（2語以上）
→ 名詞の**後**に置くのが原則

※ 不定詞（形容詞用法）との区別

不定詞 = 可能性（まだしていない） / 分詞 = 事実（すでにしてている）

例② : I need somebody to help me. 「私は助けてくれる人が必要だ」

There's somebody waiting for you at the door. 「戸口で君を待ってる人がいる」

<例題1> 適語を選べ。

1. In many cities, nowadays there are restaurants (to run / running / run) by large companies.
2. The fence (to surround / surrounding / surrounded) the construction site is made of wood.

頻出ポイント ② 付帯状況の with

★ 付帯状況とは「主節の状況の説明」。with を用いて表すのが一般的。

with + A + B ①「AがBの状態」〈付帯状況〉 ②「AがBなので」〈理由〉

※ AとBの間に **be動詞** が省略された文の関係

例③ : I can't look at the blackboard with you standing there. ⇔ You are standing there.の関係

「あなたがそこに立っていては、私は黒板が見えません」

Don't speak with your mouth full. ⇔ Your mouth is full.の関係

「食べ物をほおぼりながら話をしてはいけない」

I fell asleep last night with the TV on. ⇔ The TV was on.の関係

「私は昨夜はテレビをつけたままで寝てしまいました」

He was walking with his hands in his pockets. ⇔ His hands were in his pockets.の関係

「彼は手をポケットに入れて歩いていた」

<例題2> 適語を入れよ。

1. そんなに君に見つめられたら集中できないよ。

I can't concentrate with () () me like that.

2. 彼女は足を組んで座っていた。

She was sitting with () () () () .

★ 現在分詞・過去分詞の副詞用法（分詞構文）は動詞を修飾する。

[接続詞+S+V] → [分詞構文] に書き換えるルール(×7)

① 接続詞を省略 ② S を省略 ③ V を～ing 形にする

When he saw me, he ran away. 「私を見て、彼は逃げ出した」

≡ Seeing me, he ran away.

④ 否定形は not+分詞

As I didn't know what to say, I kept quiet. 「私は何を言っているかわからず、黙っていた」

≡ Not knowing what to say, I kept quiet.

⑤ 主節の S と異なる場合は S を省略せず、残しておく。

As the weather was nice, he went for a walk. 「天気良かったので、彼は散歩に行った」

≡ The weather being nice, he went for a walk.

⑥ 他の動詞より昔の出来事は、having+Vp.p.（完了分詞構文）にする。

As I finished my homework last night, I am free now. 「昨夜宿題が終わったので、今暇です」
過去形 現在形

≡ Having finished my homework , I am free now.

⑦ 分詞構文の being/having been は省略可（省略するほうが一般的）。

As the book was written in easy English, the book is easy to read.

≡ (Having been) written in easy English, 「簡単な英語で書かれているので、この本は読みやすい」

<例題3> 適語を選べ。

1. (To see / Seeing / Seen) from the plane, the islands were very pretty.

2. (Being / It being / There being) no bus service, I had to walk home.

和文英訳の注意

原則 分詞構文はなるべく使わない → 副詞節（接続詞+S+V）のままでOK。

理由1：分詞構文は文法ミスの温床（ルールが多く複雑なので、間違えやすい）。

理由2：分詞構文は接続詞を省略するので、前後のつながりがいまい（時？理由？条件？譲歩？）。

例外 「～しながら」を英訳する場合は分詞構文を使うしかない。

パターン1：一体化した動作 … [移動・姿勢V] + Ving で用いることが多い。

例④：「彼は本を読みながらソファに座っていた」 = He was sitting on the sofa reading a book.

※ [移動・姿勢V] =

{	移動 … walk 「歩く」 / run 「走る」 など
	姿勢 … stand 「立つ」 / sit 「座る」 / lie 「横になる」 / stay 「いる」 など

パターン2：動作のかけもち … 分詞構文の前に while をつける。

例⑤：「運転しながら通話するのは危険です」 = It is dangerous to talk on the phone while driving.

<例題4> 適語を入れよ。

1. 彼はテレビを見ながらベッドで横になっていた。

He was lying on the bed () () .

2. 食べながら本を読むのをやめてください。

You shouldn't read a book () () .

頻出ポイント① 不定詞(副詞用法)

★ 不定詞(副詞用法)は5つのパターン(慣用表現は除く)。

1. 「～するために」〈目的〉

強調のために in order や so as をつけてもよい。

例⑥: 「彼女に会うために, 病院に行った」

= I went to the hospital (in order / so as) to meet her.

※1: 「～しないように」〈否定の目的〉の場合は not to V は不可。

例⑦: 「始発バスに乗り遅れないように早起きした」

= I got up early { not to miss the first bus. (×)
in order [so as] not to miss the first bus. (○)
so that I wouldn't miss the first bus. (◎)

和文英訳で注意

「～しないように」で最も一般的な表現
= so that S will [can・may] not 原形

例外 be careful not to V 「～しないように気を付ける」 [= take care not to V]

※2: 〈道具の使用目的〉の場合, to V の代わりに for Ving を使ってもよい。

例⑧: 「このナイフは果物を切るために使われる」

= This knife is used to cut [for cutting] fruit.

2. 「その結果～」〈結果〉

現代英語では慣用表現で用いることがほとんど。

□ SV ..., only to V 「...が(結局)～だけだった」

□ SV ..., never to V 「...が, (結局)二度と～しない」

□ S live to be 年齢 「～才まで生きる」

例⑨: 「100歳まで生きる人はとても少ない」 = Very few people live to be a hundred years old.

3. 「～して」〈感情の原因〉

前に「感情表現」(happy など)が必要。

例⑩: 「彼は彼女に会えてうれしかった」 = He was happy to see her.

<例題5> 「彼女はその知らせを聞いて泣いた」(英訳)

She cried _____

4. 「～するなんて」〈判断の根拠〉

例⑪: 「彼は道で寝るなんて頭がおかしい」 = He must be crazy to sleep on the street.

5. 「～するのが」〈前の形容詞の意味限定〉 … 通称, タフ構文

1. 前の形容詞は以下の意味のもの。

「難易」: easy / simple / hard / difficult / tough など

「快不快」: (un)comfortable / (un)pleasant / nice など

「その他」: safe / dangerous / interesting / impossible など

2. 文の S と to V が 〈V+O〉の関係

例⑫: 「彼は喜ばせるのが難しい」 = He is hard to please. ⇨ please(V) him(O)の関係
(please 名詞「～を喜ばせる」)

「私の上司は話しやすい」 = My boss is easy to talk to. ⇨ talk to my boss の関係
(talk to 名詞「～に話しかける」)

和文英訳で注意

前置詞を忘れずに!

<例題6> 「この川は7月に泳ぐのが危険だ」(英訳)

This river is dangerous _____

頻出ポイント② 「程度」の構文

★ enough/too の後に続く to V は「～するほど・するには」〈程度〉の意味になる。

1. too ~ to V 「Vするには～すぎる」… 文の S と to V が 〈S+V〉 または 〈V+O〉 の関係

例⑬ : He is too young to vote. ⇔ He(S) vote(V)の関係

「彼は投票するには若すぎる (若すぎて投票できない)」

This box is too heavy for her to lift. ⇔ lift(V) this box(O)の関係

「この箱は彼女が持ち上げるには重すぎる (重すぎて持ち上げられない)」

2. enough to V 「Vするほど (十分) ~」… 文の S と to V が 〈S+V〉 または 〈V+O〉 の関係

例⑭ : He is kind enough to help me. ⇔ He(S) help(V)の関係

「彼は私を手伝ってくれるほど親切だ」

This book is easy enough for a child to read. ⇔ read(V) this book(O)の関係

「この本は子供が読めるほど簡単だ」

※ enough の位置に注意 (正誤で頻出!)

1. 形容詞・副詞を修飾する場合 → 形容詞・副詞の後

He was kind enough to help me. [○] / He was enough kind to help me. [×]

2. 名詞を修飾する場合 → 名詞の前後

He has money enough to buy a house. [○] / He has enough money to buy a house. [○]

<例題7> 「このプールは飛び込みができるだけの深さがある」(英訳)

This pool _____

頻出ポイント③ 不定詞の意味上の主語

★ 不定詞の前に意味上の主語を置く場合は for A を用いる。

for A to V ~ 「AがVする」… for A と to V が 〈S+V〉 の関係

例⑮ : She hopes for her son to study in Paris. ⇔ Her son(S) study(V)の関係

「彼女は息子がパリに留学することを望んでいる」

1. 前に意味上の主語がない to V は、文の S と 〈S+V〉 の関係になる。

例⑯ : She hopes to study in Paris. ⇔ She(S) study(V)の関係

「彼女はパリに留学することを望んでいる」

2. 通常的不定詞と同じように3用法がある。

名詞用法 (=文の S・O・C になる)

例⑰ : She hopes for her son to study in Paris. 「彼女は息子がパリに留学することを望んでいる」
S V O

形容詞用法 (=前の名詞を説明する)

例⑱ : This is a chance for you to show your ability. 「これは君が能力を示すチャンスだ」
S V C

副詞用法 (=名詞以外 (主に動詞) を説明する)

例⑲ : I opened the door for the cat to enter the room. 「ネコが部屋に入れるようにドアを開けた」
S V O

<例題8> Water is necessary for human beings to survive. (和訳)

